

ふじさん

fujijoho group monthly magazine

平成29年指針

富士情報

賢守智略

[今月のひとこと]

初心

- 採用活動がスタート
- 健康保険料率が引き上げられます



桜と富士山（河口湖北岸）

写真提供：富士河口湖町 観光課



初 心

社 長 渡 辺 直 企

新年度といえば4月からですが、春分で季節の切り替わりということもあり、我々が使っている暦も元々は3月から始まっていたので3月が初めの月というイメージがあります。「初」というと、入学式、入社式によく「初心忘るべからず」という言葉を引用されることがあります。これは能を大成した世阿弥の言葉です。我々はこれを「学び始めた頃の気持ちを忘れてはならない」という意味で理解しています。明治大学学長の土屋教授によると、世阿弥の言う「初心」は「最初の志」に限られているのではなく、人生の中にいくつもの初心があると言っているとのこと。若い時の初心、人生の時々の初心、そして老後の初心。それらを忘れてはならないということのようです。例えば若いときであれば24、5歳になって一人前になって周りが褒めたりする頃があります。その時に自分が天才なのだと思ってしまう。まさにこれが壁であり、ここに初心が来ると言っています。私も日ごろ様々な課題、プロジェクトを抱えています。一つの課題を解決した時にはやり切ったという達成感よりも、これでやっとスタートラインに立てるという気持ちになります。連なる連峰の一つを上ると次の山（課題）を初めて見ることができ、これまでと違う景色のもと次の山に向かうというようなイメージです。

いま、ヤマト運輸が労使、顧客との単価やサービス内容の見直しなど様々な課題を抱えています。宅配業界では昨年度37億個を超えてこの20年間でネット通販の普及などにより3倍になったとのこと。最大手のヤマト運輸では16億個を取り扱っています。ヤマト運輸は1976年に当時の小倉社長のアイデアのもと、宅急便(登録商標)の名称で個人宅への集配をする宅配便のサービスを始めました、初年度は170万個の取り扱いでしたので40年で実に1000倍に拡大したということになります。ヤマト運輸はサービスもよく、融通が効いて柔軟に対応してもらえという印象をもっています。しかし、2013年にはクール便の問題が発覚しました。この年にAmazonは佐川急便の値上げ交渉を打ち切り全量をヤマト運輸に切り替えました。現在のAmazonの荷物は推計によると4億個でヤマト運輸の25%を占めていることになり、これらが疲弊していた現場に一層追い打ちをかけていたのだと思います。ヤマト運輸でも荷物の追跡やWebでメンバー情報を登録したり、集配所でタブレットを使ったりとITの活用はすすめている様ですが、荷物の取り扱い自体は旧来通り、根本から変えるまでには至らず今回の問題につながったのだと思います。一方のAmazonはAmazon Robotics (AR)を採用した物流倉庫を昨年稼働しました。従来は人が歩いて商品を取り出していましたが、ARは商品の棚を「ドライブ」という自走式ロボットによって動かすことで人が移動することなく商品を取り出すことができます。ARでは移動距離の最適化も図りより効率が向上します。Amazonはこのほかにも米国内で自社便での運送を検討するなど、ITなどの技術を駆使して流通システム全体の再構築を実施しています。今回の一連の課題に対してヤマト運輸が顧客に対する単価アップなどや各種の条件交渉で場当たりの対応にとどまるのであれば、今後拡大していく物流の流れについていけなくなってしまいます。ヤマト運輸は宅急便を始めた業界の改革者としてのDNAが残っているはずで、今このDNA(初心)を思い出し、使える技術を駆使し、Amazonとのより高度な事業の融合が叶えばきっと流通・運輸の改革が実現できるはずで、我々も節目節目で取り巻く環境を見直し常に初心を心がけることで継続的な成長が可能になると思います。

採用活動がスタート

～企業合同説明会に参加～

3月1日と2日に2018年卒業予定者を対象とした合同企業説明会が行われました。場所は立川パレスホテル。大宴会場に様々な企業がブースを並べ、思い思いの工夫を凝らしたディスプレイと呼び込みで学生たちを誘導せんとする光景は、まるで学校の文化祭のよう。賑わいの中を行き交う学生たちも、どこかのびのびとして楽しげに見えました。

しかし富士情報ブースはというと、なかなかその輪に加わることができず、時おり思い出したように数人が訪れる程度。6つの座席がすべて埋まることもほとんどないまま、2日間での来場者数は34名にとどまりました。

千野取締役が期待されていた「両日50名ずつ」に遠く及ばぬこの結果、いったい何によるものなのかと考えさせられます。学生たちの志向、就職市場の傾向、業界の人気、ブースの立地、他の出展企業の影響……色々な要因がありそうですが、今後はどうにか対応していきたいところです。

とはいえ、そうした中にも嬉しいことがありました。ブースを訪れてくれた学生たちの中には、「とりあえず聴いてみた」だけではない、積極的に富士情報のことを知ろうとしてくれる方がいたのです。世の採用担当者はまずこういう人を探すものなのかも、と誤ってしまいました。

今月の表紙

～桜と富士山～

3月21日に全国で一番早く東京の桜の開花が発表されました。標高の高い富士山ろくの桜の開花は半月ほど遅く、例年4月中旬が見ごろになります。

河口湖北岸エリアは富士山と湖に加え、春は桜、初夏はラベンダー、秋には紅葉との組み合わせを満喫



少ない出会いからでも、彼らと富士情報が互いにとってよい縁を結べるよう願います。

(システム第2グループ 若尾 結)

○健康保険料率が引き上げられます

平成29年度の協会けんぽの健康保険料率が平成29年3月分(4月納付分)から引き上げられ、山梨支部は下記のように改定されます。

山梨支部保険料率

・健康保険料率

給与・賞与の
現行 10.00% ➡ 改定 10.04%

・介護保険料率

給与・賞与の
現行 1.58% ➡ 改定 1.65%

健康保険料率(10.04%)のうち6.31%分は加入者の医療費等に充てられる基本保険料率となり、3.73%分は後期高齢者医療制度への支援金等に充てられる特定保険料率となります。

できる人気のスポットです。

今年は4月14日から23日まで河口湖の桜の名所、河口湖円形ホールの湖畔沿いを中心に「富士・河口湖さくら祭り」が開催されます。期間中は日没から午後9時まで円形ホール湖畔の桜がライトアップされます。

今年度も富士情報グループ社員の皆さまには、保険の加入、見直し等でご協力いただきありがとうございました、

来年度も引き続き、損害保険各種のみならず、生命保険も含め、どんな些細なことでも構いませんので、ご質問等ありましたらお気軽にご相談ください。

また、あわせて丸久への深いご理解と一層のご協力をお願いいたします。

保険のお問い合わせは **丸久へ** 電話：0555-24-2341 メール：marukyu@ag.sjnk.co.jp



私の趣味
No.450

料理と酒のハーモニー

白水隆司

何かの縁で、最近、新潟に出張に行くことが多くなりました。新潟は、九州出身の私としては、今までまったく縁がなかったところでした。新潟のイメージといえば、雪、米どころ、日本酒、佐渡、朱鷺などでした。

上越新幹線に乗って東京から約2時間、越後の国、新潟に到着します。

日本海に面しているなので、冬は関東などとは違い、曇りやあられ、雪など、天候が悪いときが多いのですが、ようやく春になってきて、山に積もった雪がゆっくりと溶けてきて、遠くにまだら模様となった雪山が見えるようになりました。

若い頃から酒を楽しんできましたが、焼酎などを飲むのが一般的で、あまり味がわからなかった日本酒は、あまり飲みませんでした。しかし、折角、酒どころの越後に頻繁に来るようになって、日本酒を存分にトライしてみようと思うようになりました。

越後の日本海でとれた魚を使った刺身や寿司などの日本料理を食べるときに地元の酒蔵でできる、いろいろな種類の「日本酒」をトライして飲んでみると、実に奥深いハーモニーを感じるようになってきました。

3月の第二週目の週末に、「新潟酒の陣」というイベントがあり、主催者発表で延べ約12万人が参加する大イベントです。新潟には佐渡、村上、新発田、阿賀野、長岡、魚沼、十日町、湯沢、糸魚川、上越、妙高など約90の酒蔵があるそうですが、そのほとんどの酒蔵がこのイベントに出店しています。そして、すべての酒蔵のブースで試飲ができますし、新潟の地元料理が食べられるブースもあります。自分に合う美味しい料理と美味しいお酒を発掘するのは、とても幸せな気分になります。

皆さんも、旅行したときに、今まで経験したことがない、いろんな美味しい料理と美味しいお酒をトライして、新しいハーモニーを発掘されてはいかがでしょうか？ きっと新しい発見ができると思います。

(株)IHIエスキューブ システム技術事業部 副事業部長

